

令和7年1月17日

「昭和100年」関連施策関係府省連絡会議

「昭和100年」関連施策の推進について

令和8年（2026年）に、昭和元年（1926年）から起算して満100年を迎える。これを契機に昭和を顧み、将来に思いを致すことは大変意義深いことから、令和8年を目標として「昭和100年」関連施策を推進することとし、有識者からの意見聴取等を踏まえ、その「基本的な考え方」及び「施策の方向性」を以下のとおりとする。

◆基本的な考え方

昭和の時代は、未曾有の激動と変革、苦難と復興の時代であった。明治以降、近代国民国家への第一歩を踏み出した我が国は、世界恐慌の発生等により日本経済が大きな打撃を受ける中、外交的、経済的な行き詰まりを力の行使によって解決しようと試み、進むべき針路を誤って戦争への道を進み、先の大戦で多くの人々が犠牲になった。この経験から、「二度と戦争の惨禍を繰り返してはならない。」という誓いの下、外交、通商貿易、文化交流など、多くの分野で平和を希求する道を歩み、揺れ動く世界情勢の中にあって、国際社会の安定と繁栄に貢献してきた。今後とも、この平和を希求する歩みを続けるとともに、歴史の教訓を次世代に継承していくことが必要である。

また、戦後の我が国は目覚ましい復興と経済成長を遂げ、世界有数の経済大国へと発展し、「豊かさ」を実現した。科学技術の進歩、新しい商品等の創出、インフラの整備や各種施策の推進等を通じて国民の生活水準は著しく向上し、文化・芸術やスポーツなど幅広い分野で多くの人が活躍し、世界的な舞台での活躍も数多く見られた。

これらは昭和を逞しく生きた先人たちの叡智と努力の結晶であり、令和を生きる我々は、昭和の先人たちが築いた「豊かさ」の土台に立ち、その叡智と努力に学びながら、歴史の流れの先にある、我が国新たな

姿・価値観を摸索していくことが必要である。

現在、国民の約7割が昭和以前の生まれ、約3割が平成以降の生まれとなっている。今日の我が国は、少子高齢化の進展、感染症の脅威、地球規模の気候変動やそれに伴う自然災害の激甚化など昭和期とは異なる多くの課題や、戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面している。こうした中、「昭和100年」を契機に昭和を顧み、先人の躍動に学び、昭和の記憶を共有することは、平成以降の生まれの世代にとっても新たな発見のきっかけとなり、また、世代を超えた理解・共感を生むとともに、リスクや課題に適切に対処しながら、幸せや生きがいを実感でき、希望あふれる未来を切り拓く^{ひらく}機会になる。さらに、いつの時代にあっても忘れてはならない平和の誓いを継承し、将来にわたる国際社会の安定と繁栄への貢献につなげていく機会になる。

このような観点から、幅広い分野にわたり、「昭和100年」関連施策を推進する。

◆施策の方向性

以上の「基本的な考え方」を踏まえ、今後、各府省において、以下の施策の方向性により、具体的な関連施策の実現に向けて積極的に取り組んでいく。あわせて、地方公共団体や民間主体も含めて多様な取組が全国各地で推進されるよう、幅広く周知広報を行う。

また、関連施策の企画・推進に当たっては、昭和を直接体験していない若い世代も興味関心を持つるものとなるよう、留意する。

■昭和の躍動や体験を発掘し、次世代に伝承していくための施策

様々な分野の歴史的遺産を収集・整理するとともに、次の世代が活用しやすい形で保存・公開するための施策を推進する。

例えば、個人や企業が保有する資料の発掘を含め、昭和期の史実に関する文書、写真、映像等の資料の収集・整理、ＩＣＴなどの最新技術を活用したアーカイブ化の推進やアクセスしやすい形での公開、高齢化している戦争体験等の語り部の次世代への継承、昭和にゆかりのある建築物、産業遺産等の保存・公開などが考えられる。

■昭和を顧み、昭和に学び、未来を切り拓いていくための施策

昭和を生きた人々の記憶を、昭和を体験していない人々も含めて共有し、未来を切り拓く力につなげるための施策を推進する。

例えば、経済、科学技術、インフラ、文化・芸術、スポーツ、各種制度など多様な分野で昭和の躍動を振り返ってそれに学ぶ、それぞれの地域における歴史、戦争の悲惨さや労苦、人々の暮らし等を振り返ってそれに学ぶ、平和を希求する人々の思いが具体化した国際協力・国際交流などの取組を広く紹介する、といった趣旨の企画展示やシンポジウムの開催などが考えられる。

■「昭和100年」の機運を盛り上げるための施策

昭和元年（1926年）から起算して満100年を迎える令和8年（2026年）に政府主催の記念式典を挙行するとともに、「昭和100年」の機運を盛り上げるための施策を推進する。

例えば、多様な主体の取組を紹介するポータルサイト・SNSによる発信、歌謡、マンガ・アニメ、映画、出版など昭和の文化に関連したイベントの開催、昭和にゆかりのある地名や昭和の色彩を残す風景などを有する地域が連携した取組の推進などが考えられる。

以上

「昭和100年」関連施策について

内閣官房「昭和100年」関連施策推進室

これまでの経緯と今後の予定

- 令和8年（2026年）に、昭和元年（1926年）から起算して満100年を迎える。
- 令和6年5月31日 超党派議連から総理への要望（抜粋）

「令和8年（2026年）に国を挙げて「昭和100年記念式典」を盛大に開催することは、**激動と復興の昭和の時代を顧み、国の将来に思いを致す機会となり、わが国の新たな平和と繁栄の出発点になるもの**と期待」する。

⇒ 令和6年7月 内閣官房に「昭和100年」関連施策推進室を設置
「昭和100年」室で有識者ヒアリングを順次実施
- 令和6年12月 関係府省連絡会議を設置

⇒ 令和7年1月 「基本的な考え方」・「施策の方向性」をとりまとめ
- 令和7年夏頃 各府省・地方公共団体等において事業内容を検討し、予算要求
- 令和8年 政府主催の記念式典、関連施策を実施
- 数えで「昭和100年」となる令和7年（2025年）に行われるイベント等も含め、全体として機運を醸成

「昭和100年」関連施策の推進について

「「昭和100年」関連施策の推進について」
(令和7年1月17日「昭和100年」関連施策
関係府省連絡会議決定)より内閣官房作成

基本的な考え方

昭和の時代は、未曾有の激動と変革、苦難と復興の時代であった。

明治以降、近代国民国家への第一歩を踏み出した我が国は、世界恐慌の発生等により日本経済が大きな打撃を受ける中、外交的、経済的な行き詰まりを力の行使によって解決しようと試み、進むべき針路を誤って戦争への道を進み、先の大戦で多くの人々が犠牲になった。この経験から、「二度と戦争の惨禍を繰り返してはならない。」という誓いの下、外交、通商貿易、文化交流など、多くの分野で平和を希求する道を歩み、揺れ動く世界情勢の中にあって、国際社会の安定と繁栄に貢献してきた。今後とも、この平和を希求する歩みを続けるとともに、歴史の教訓を次世代に継承していくことが必要である。

また、戦後の我が国は目覚ましい復興と経済成長を遂げ、世界有数の経済大国へと発展し、「豊かさ」を実現した。科学技術の進歩、新しい商品等の創出、インフラの整備や各種施策の推進等を通じて国民の生活水準は著しく向上し、文化・芸術やスポーツなど幅広い分野で多くの人が活躍し、世界的な舞台での活躍も数多く見られた。

これらは昭和を逞(たくま)しく生きた先人たちの叡智(えいち)と努力の結晶であり、令和を生きる我々は、昭和の先人たちが築いた「豊かさ」の土台に立ち、その叡智(えいち)と努力に学びながら、歴史の流れの先にある、我が国新たな姿・価値観を模索していくことが必要である。

現在、国民の約7割が昭和以前の生まれ、約3割が平成以降の生まれとなっている。今日の我が国は、少子高齢化の進展、感染症の脅威、地球規模の気候変動やそれに伴う自然災害の激甚化など昭和期とは異なる多くの課題や、戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面している。こうした中、「昭和100年」を契機に昭和を顧み、先人の躍動に学び、昭和の記憶を共有することは、平成以降の生まれの世代にとっても新たな発見のきっかけとなり、また、世代を超えた理解・共感を生むとともに、リスクや課題に適切に対処しながら、幸せや生きがいを実感でき、希望あふれる未来を切り拓(ひら)く機会になる。さらに、いつの時代にあっても忘れてはならない平和の誓いを継承し、将来にわたる国際社会の安定と繁栄への貢献につなげていく機会になる。

このような観点から、幅広い分野にわたり、「昭和100年」関連施策を推進する。

施策の方向性

- ◆ 「基本的な考え方」を踏まえ、各府省において、具体的な関連施策の実現に向けて積極的に取り組んでいく。
- ◆ 地方公共団体や民間主体も含めて多様な取組が全国各地で推進されるよう、幅広く周知広報を行う。
- ◆ 昭和を直接体験していない若い世代も興味関心を持てるものとなるよう、留意する。

① 昭和の躍動や体験を発掘し、次世代に伝承していくための施策

- 様々な分野の歴史的遺産を収集・整理するとともに、次の世代が活用しやすい形で保存・公開するための施策を推進
(考えられる施策の例)
 - ・個人や企業が保有する資料の発掘を含め、昭和期の史実に関する文書、写真、映像等の資料の収集・整理
 - ・I C Tなどの最新技術を活用したアーカイブ化の推進やアクセスしやすい形での公開
 - ・高齢化している戦争体験等の語り部の次世代への継承
 - ・昭和にゆかりのある建築物、産業遺産等の保存・公開 など

② 昭和を顧み、昭和に学び、未来を切り拓(ひら)いていくための施策

- 昭和を生きた人々の記憶を、昭和を体験していない人々も含めて共有し、未来を切り拓(ひら)く力につなげるための施策を推進
(考えられる施策の例)
 - 以下のような趣旨の企画展示やシンポジウムの開催など
 - ・経済、科学技術、インフラ、文化・芸術、スポーツ、各種制度など多様な分野で昭和の躍動を振り返ってそれに学ぶ
 - ・それぞれの地域における歴史、戦争の悲惨さや労苦、人々の暮らし等を振り返ってそれに学ぶ
 - ・平和を希求する人々の思いが具体化した国際協力・国際交流などの取組を広く紹介する

③ 「昭和100年」の機運を盛り上げるための施策

- 昭和元年（1926年）から起算して満100年を迎える令和8年（2026年）に政府主催の記念式典を挙行
- 「昭和100年」の機運を盛り上げるための施策を推進
(考えられる施策の例)
 - ・多様な主体の取組を紹介するポータルサイト・S N Sによる発信
 - ・歌謡、マンガ・アニメ、映画、出版など昭和の文化に関連したイベントの開催
 - ・昭和にゆかりのある地名や昭和の色彩を残す風景などを有する地域が連携した取組の推進 など

明治以降の歩みを次世代に遺す施策

【明治期の資料等の収集・整理、保存及び展示】

◆ 国

・国立公文書館における特別展・企画展【内閣府】

◆ 県・政令市

・県立公文書館における企画展【秋田県】

・県立図書館における特別展示【島根県】

◆ 市区町村

・アイヌ民族等に関する資料の収集及び整理【北海道登別市】

・「深沢家文書」修復事業【東京都あきる野市】

【デジタルアーカイブ化等の推進】

◆ 国

・明治150年アーカイブス【内閣官房】

・明治期教科書等教育資料のデジタルアーカイブ化【文部科学省】

◆ 県・政令市

・県立図書館における歴史・文化資料のデジタル化事業【神奈川県】

・市立漫画会館デジタルアーカイブ化事業【さいたま市】

◆ 市区町村

・町史編纂等歴史資料デジタル化事業【岩手県紫波町】

・古文書調査保存事業【香川県小豆島町】

【建築物の復元・修復等】

◆ 国

・重要文化財 旧奈良監獄の公開・活用【法務省】

・明治記念大邸邸園(旧・伊藤博文邸等)の整備【国土交通省】

・明治期に建設された灯台等の原型保存等【国土交通省】

◆ 県・政令市

・北海道庁旧本庁舎(赤レンガ庁舎)の保存・活用事業【北海道】

・旧新潟税関庁舎等整備活用事業【新潟市】

◆ 市区町村

・国名勝・盛美園の保存整備事業【青森県平川市】

【地方公共団体及び民間の活動支援】

◆ 国

・地方創生推進交付金による地方公共団体の取組支援【内閣府】

・地方公共団体が実施する「明治150年」関連施策の取組支援【総務省】

・各種補助事業による地方公共団体等の文化財修復事業等の取組支援【文化庁】

◆ 県・政令市

・幕末明治福井150年博に開催した市町に対する支援【福井県】

・歴史資源等強化事業費補助金【高知県】

◆ 市区町村

・大磯町邸園文化交流事業【神奈川県大磯町】

「ゆかりの人物」を取り上げた施策（地方公共団体のみ）

資料等の収集・整理、保存及び展示

・弁天島遺跡等に関する資料整理事業【北海道根室市】*ジョン・ミレン

建築物の保存等

・檜野町灯台旧官舎保存及び展示【和歌山県串本町】*リチャード・ヘンリー・ブラントン

建築物の復元・修復等

・四賢婦人記念館新築工事【熊本県益城町】*矢嶋家姉妹

記念碑等の整備

・ジョン万次郎上陸之碑建立等事業【沖縄県糸満市】

特別展の開催

・ジョージ・ルイスと武田久吉に関する県立博物館企画展【栃木県】

・与謝野晶子誕生140年記念イベント【堺市】

・飯野喜四郎に関する企画展【埼玉県蓮田市】

「明治150年」関連施策（概要）

明治の精神に学び、更に飛躍する国へ向けた施策

【明治期の若者、女性及び外国人の活躍を取り上げた施策】

特別展の開催

◆ 国

・国立女性教育会館での企画展【文部科学省】

◆ 県・政令市

・女子教育のあゆみを紹介する企画展【山形県】

事業の実施

・明治150年記念「世界青年の船」事業【内閣府】

【明治期の技術及び文化芸術に触れる機会の充実】

特別展の開催

◆ 国

・法務省赤れんが棟における特集展示【法務省】

・地質図に関する展示【経済産業省】

◆ 県・政令市

・日光田母沢御用邸「皇后御学問所特別公開」【栃木県】

・日本初の近代水道である横浜水道の歴史に関する展示【横浜市】

◆ 市区町村

・九谷焼に関する企画展【石川県小松市】

シンポジウム・講演の開催

◆ 国

・明治期の金融制度に関するシンポジウムの開催【金融庁】

・税務大学校、造幣局、印刷局の連携による公開講座の実施【財務省】

◆ 県・政令市

・世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」シンポジウムの開催【鹿児島県】

◆ 市区町村

・「明治近代化につながる技術革新」講演会【鳥取県北栄町】

イベントの実施

◆ 国

・迎賓館赤坂離宮 特別参観等の実施【内閣府】

・在外公館、国際交流基金、ジャパン・ハウスにおける関連イベントの実施【外務省】

◆ 県・政令市

・琵琶湖疏水通船の本格運行及びそれに関する情報発信【京都市】

◆ 市区町村

・「ふるさと再発見！近代化ヘリテージツアー【秋田県大仙市】

その他

◆ 国

・明治期の公共土木施設等に関するインフラツーリズムの推進、明治期の歴史を探訪する旅の開発【国土交通省】

◆ 県・政令市

・明治期の公共土木施設の紹介、インフラツーリズムの実施【滋賀県】

明治150年に向けた機運を高めていく施策

【広報関係・情報発信】

◆ 国

・ロゴマークの作成・「明治150年」ポータルサイトの開設【内閣官房】

・老人の日・老人週間における行事を活用した「明治150年」関連キャンペーンの実施【厚生労働省】

・放送コンテンツの制作・展開への支援【総務省】

・「明治150年」温泉地PR【環境省】

◆ 県・政令市

・明治150年情報発信・観光PR事業【京都府】

・みんなでつくる「明治150年・京都のキセキ」ポータルサイト【京都市】

・熊本遺産魅力発信事業【熊本市】

【記念事業・大会】

◆ 国

・キックオフ地域イベントの開催【内閣官房・関係県市】

・記念切手・国民体育大会特殊切手の発行推薦、記念貨幣・メダル・商標の記念登録証の発行【関係省庁】

・関係省庁と連携した産業遺産に関する理解増進【内閣府】

・明治150年を冠した国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会の開催【文部科学省】

・明治150年を冠した文化イベント(国民文化祭、芸術祭、メディア芸術祭等)の開催【文化庁】

・検疫資料館等を活用した公開イベント等の実施【厚生労働省】

◆ 県・政令市

・全国運河サミットinみやぎの開催【宮城県】

・「東京150年祭」の開催【東京都】

・県政150周年記念式典の開催【兵庫県】

・肥前さが幕末維新博覧会の開催【佐賀県】

・大阪港開港150年記念式典の開催【大阪市】

◆ 市区町村

・近代製鉄発祥160周年記念フォーラムの開催【岩手県釜石市】

・戊辰150周年オーブニング記念歴史講演会の開催【福島県会津若松市】

・旧美歎水源地水道施設の公開記念式典の開催【鳥取県鳥取市】

地方公共団体等の連携による施策（地方公共団体のみ）

特別展の開催

・県立・市立博物館における戊辰戦争に関する企画展【新潟県、福島県、仙台市】

・旧軍港四市日本遺産WEEK【神奈川県横須賀市、広島県呉市、長崎県佐世保市、京都府舞鶴市】

シンポジウム・講演の開催

・戊辰戦争後150周年記念講演会【秋田県仙北市、長崎県大村市】

事業の実施

・「平成の薩長土肥連合」広域観光プロジェクト

【鹿児島県、山口県、高知県、佐賀県】

・戊辰記念交流事業「白河交流」【福島県白河市、山口県萩市】

・明治150年特別な旅モニターツアー【石川県小松市他5市町】

・長浜市・敦賀市・南越前町近代化遺産ガイドブック制作事業

【滋賀県長浜市、福井県敦賀市、南越前町】

「ゆかりの人物」を取り上げた施策（地方公共団体のみ）

資料等の収集・整理、保存及び展示

・弁天島遺跡等に関する資料整理事業【北海道根室市】*ジョン・ミレン

建築物の保存等

・檜野町灯台旧官舎保存及び展示【和歌山県串本町】*リチャード・ヘンリー・ブラントン

建築物の復元・修復等

・四賢婦人記念館新築工事【熊本県益城町】*矢嶋家姉妹

記念碑等の整備

・ジョン万次郎上陸之碑建立等事業【沖縄県糸満市】

特別展の開催

・ジョージ・ルイスと武田久吉に関する県立博物館企画展【栃木県】

・与謝野晶子誕生140年記念イベント【堺市】

・飯野喜四郎に関する企画展【埼玉県蓮田市】

民間団体における「明治150年」関連施策（概要）

明治以降の歩みを次世代に遺す施策

【明治期の資料等の収集・整理、保存及び展示】

- 明治期の警察制度に関する研究成果の発信【警察政策学会】
- 「明治150年」記念を冠したイベント等の実施
【（株）日本取引所グループ、（株）東京証券取引所、日本証券業協会、平和不動産（株）】
- 明治期以降の米流通の歴史等に関する資料の収集・整理、デジタルアーカイブ化やパネル展示の実施
【（公社）米穀安定供給確保支援機構】
- 幕末・明治に活躍した人物や明治期の東京に存在していた建築物の古写真展の開催【（一財）日本カメラ財団】
- デジタルアーカイブガイドライン作成・公表、技術的な相談・助言の実施【（公社）日本文書情報マネジメント協会】
- 明治改元150年展「幕臣たちの文明開化」【郵政博物館】
- 戊辰戦争と原敬に関する企画展の開催【（公財）盛岡市文化振興事業団】

【デジタルアーカイブ化等の推進】

- 明治時代における年表や書類等のデジタルアーカイブ化の実施【（公財）日本証券経済研究所、（株）東京証券取引所】
- 明治以降の酪農・乳業の歴史に関する関連資料の収集・整理、デジタルアーカイブ化やシンポジウムの開催
【（一社）Jミルク】※農林水産省施策と同一

【建築物の復元・修復等】

- 舞鶴市内にある海軍にゆかりのある旅館「松栄館」を海軍西洋料理を提供できるレストランとして再生し、日本近代化の歴史に基づく観光拠点として整備【（株）ニューオーサカホテルエンタープライズ】
- 明治期以降、主要産業の一つとして栄えた大竹市の手すき和紙を保存・継承するために、現在市内で唯一残る和紙作業所の施設を改修・整備するとともに、体験教室などの開催【おおたけ手すき和紙保存会】

明治150年に向けた機運を高めていく施策

【広報関係・情報発信】

- 経団連会報における明治150年記念の寄稿掲載【（一社）日本経団連】
- 明治維新の原動力となり、我が国を近代化に導いた鳥取藩の活躍を後世に伝えるため、鳥取藩に関わる幕末維新映画の上映祭【鳥取歴史振興会・維新の魁制作委員会】

【記念事業・大会】

- 対日理解の促進を目的とした海外日系人大会の開催【（公財）海外日系人協会】
- 武道大会等の実施【（公財）日本武道館】
- 第38回全国豊かな海づくり大会～高知家大会【豊かな海づくり大会推進委員会等】
- 通信販売ブランド「旅物語」において明治150年を記念するツアーを企画【（株）JTBメディアリテーリング】
- 明治150年記念カクテル【（株）京都ホテル】
- 北海道の名付け親とされる松浦武四郎が歩いた十勝越えの径を歩く会を実施
【「松浦武四郎の十勝越えを歩く会2018」実行委員会】
- 母成峠会津藩陣跡に関するパンフレット作成及び案内板の設置【戊辰戦争150年会津藩母成峠陣跡保存協議会】
- 西郷隆盛のひ孫など明治150年記念関係者を招聘し、幕末維新史に関するシンポジウムを開催
【鳥取歴史振興会】
- 明治日本の産業革命遺産である旧グラバー住宅や端島炭坑等の保存と活用について講演・パネルディスカッションを開催【長崎近代化遺産研究会・長崎国際観光コンベンション協会・ながさき地域政策研究所】

明治の精神に学び、更に飛躍する国へ向けた施策

【明治期の若者、女性及び外国人の活躍を取り上げた施策】

特別展の開催

- 戊辰の敗北から立ち上がり、庄内の先進的な取組に挑戦した人々の紹介「庄内近代化物語」【（公財）致道博物館】
- 德川慶喜と水戸徳川家11代から13代の功績と歴史を紹介する記念展の開催【（公財）徳川ミュージアム】
- 靈山歴史館において西郷隆盛に関する通年の特別展の開催、また、多くの資料でその生涯を辿りつつ、西郷をとりまく坂本龍馬や新選組の資料の展示【幕末維新ミュージアム・靈山歴史館】

シンポジウム・講演の開催

- 戊辰戦争を地域の視点から捉え直し、現代地域社会のありかたを展望するシンポジウムの開催【東海大学】
- 天誅組有識者によるパネルディスカッションや天誅組に関する講演会等の開催【NPO維新の魁天誅組】

【明治期の技術及び文化芸術に触れる機会の充実】

特別展の開催

- 医薬品企業が有する資料館等における明治150年関連展示【大日本住友製薬（株）、田辺三菱製薬（株）】
- 「育樹祭」関連行事の森林・林業・環境機械展示実演会における明治150年関連展示【（一社）林業機械化協会】
- IGAS2018（国際総合印刷テクノロジー＆ソリューション展）において、江戸時代から明治期における印刷技術を辿る展示等【（一社）日本印刷産業機械工業会】
- クリーンコールダーにおける我が国の石炭産業の歴史等についてパネル展示及び産炭地の石炭資料館における特別展示等の実施【（一財）石炭エネルギーセンター等】
- 明治期に活躍した建築家等の紹介展示【森美術館、日本建築家協会】
- 明治期に存在した劇場二葉座の開業150周年に係る町内の芸歴史に関する企画展の開催【NPOばとりあ岩内】
- 鶴ヶ城天守閣において、当時の歴史資料を展示し、会津における戊辰戦争の詳細を紹介する企画展「1868年の会津藩」の開催【（一財）会津若松観光ビューロー】
- 企画展「鉄道遺産をたずねて～遙かなる時を越えてきた生き証人～」の開催【京都鉄道博物館】
- 慶雲館・長浜鉄道スクエア連携企画展【（公社）長浜観光協会】

シンポジウム・講演の開催

- 「絹のみち広域連携プロジェクト」の一環として、明治期の伝習工女による「富岡日記」を題材にしたシンポジウムを開催【シルクのまちづくり市区町村協議会等】

イベントの実施

- Tourism Expo Japanにおいて、大政奉還と明治維新にスポットを当てた企画展示の実施【日本旅行業協会等】
- 明治に運転開始した日本初の事業用水力発電所「蹴上発電所」の見学会の実施【関西電力（株）】
- 明治の産業発展に貢献し、財閥を築いた偉人の別荘跡地の散策【大磯ガイド協会】
- 博物館明治村の施設を活用したイベントの開催【博物館明治村】
- 薩摩×パリ美食の饗宴【SHIROYAMA HOTEL kagoshima】

その他

- 明治期の公共土木施設等に関するインフラソーリズムの推進、明治期の歴史を探訪する旅の開発【旅行業協会等】※国土交通省施策と同一